愛知山岳連盟自然観察会に参加して

やまびこ山想会
後藤　検次

5月18、19日、愛知山岳連盟主催の池ケ原湿原自然観察会と山菜採りに参加しました。今回の池ヶ原湿原は飛騨市の北部にあって標高1000m、面積約6ha の広大な敷地の湿原で、まさに尾瀬の縮小版として近年マスコミ、ネットで取り上げられ、徐々に知れ渡ってきている所です。その湿原に一面に咲くミズバショウ、リュウキンカを代表とする春の花々を鑑賞し、ぜひ散策したいと思っていました。当日は快晴の中、総勢17名、3台に分かれて名古屋を6時頃出発し、新緑萌える山並みを車窓から見ながら池ケ原湿原に予定より1時間早く9時半に到着しました。ここで他の山岳会、東海白樺、岩倉、岡崎山岳会等と合流して総勢42名となり、講師の小野木先生の挨拶があっていよいよ湿原の散策となった。湿原に入ると一面のミズバショウとリュウキンカに皆感動し、写真を撮ったり、先生の時折ジョークを交えた花のわかりやすい解説にうなずいたり、笑ったりと、本当に楽しい有意義な散策でした。その場で昼食をとってから、地図に出てこない幻の滝二コイの滝を見に行きました。この滝は想像以上の水量と落差があって素晴らしいと感動しました。そのあと、今日の宿、国立乗鞍青少年交流の家に移動して、開所式のあと夕食をとってから第二弾、小野木先生の講義がありました。講義は、花の見分け方、観察の仕方などをメインに相変わらずジョークを交え、わかりやすく丁寧に教えていただきました。また、自然を愛する先生の熱意と行動に感心し、最後に自然を愛することが自然保護の一歩であり、心を豊かにする一歩であることを先生は言われていました。

2日目も快晴。今日は交流の家付近での山菜採りと、収穫した山菜の天ぷら料理です。はじめは山菜がなく気乗りしていませんでしたが、少しづつワラビ、コシアブラ、タラの芽が取れだすといつの間にか夢中になり、道路からかなり離れたところまで採りに行ったりして思っていた以上の収穫となりました。結局皆が持ち寄った山菜は12種類にも及び、記念撮影してからこれらを天ぷら料理にしました。素晴らしい天気の中で、屋外で食べる新鮮な山菜は風味とほろ苦さがあって日ごろあまり食べることがない私にとって大満足でした。残った山菜は皆で分けられお土産として頂きました。食事が終了して最後に近くの展望台に行ったのですが、そこから見える笠ヶ岳、穂高連峰の大パノラマに大感動し、満喫して今回の行事は終了となりました。

今回の行事は感動の連続でした。何よりも快晴であったことで、池ヶ原湿原のすばらしさ、自然の美しさを感じ、それを楽しくわかりやすく教えていただいた小野木先生、めったにやらない山菜採りとおいしい山菜天ぷら、最後の大パノラマなどなど。本当に満足のいく山行でした。最後に山行を計画してくださった栗木先生をはじめ、岳連の皆さん、名講師の小野木先生、本当にありがとうございました。